

ホームページを御覧の皆様へ

当研究室では、褥瘡の予防・管理のための研究を行っております。

【研究課題】

電子カルテ情報を用いた院内発生褥瘡予測モデルの開発（審査番号 2018130NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学 大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
老年看護学/創傷看護学分野

研究責任者 仲上豪二郎

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
老年看護学/創傷看護学分野 准教授

担当業務 データ解析

【研究期間】

年月日（承認日）から 2022 年 12 月 31 日まで

【対象となる方】

東京大学医学部附属病院に 2010 年 1 月 1 日以降に入院し 2017 年 12 月 31 日までに退院された方。

【研究の意義】

褥瘡発生を予測する方法はいくつかありますが、現在用いられている方法では褥瘡を発生する危険が高いと判断されても必ずしも褥瘡が発生するとは限りません。入院時に診療のために収集する情報から、その方に入院中に褥瘡が発生するかを予測できるようになることで、より適した褥瘡予防ケアを提供できるようになる可能性があります。

【研究の目的】

電子カルテ情報を解析することで、より正確な褥瘡発生予測方法を確立することを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療で電子カルテに記録されている情報を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

この研究は、東京大学医学部附属病院企画情報運営部との共同研究であり、あなたの情報・データ等は、解析する前に病院内で、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、

代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において仲上豪二朗が、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。ただし、新しく研究用の符号をつけた後は、どなたのものか分からないため、取り下げることはできません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がございましたら下記問い合わせ先へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学/創傷看護学分野の運営費交付金から支出されています。

本研究の利益相反について、利益相反アドバイザー機関に申告し、マネジメントを受けています。

尚、あなたへの謝金はございません。

2019年2月

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学/創傷看護学分野
助教 北村言

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5841-3451（内線23451） FAX：03-5841-3442

Eメールでのお問い合わせ：ktmr-tky_at_umin.ac.jp（_at_を@に変えてください）